【2010年度】

(講演)

1. 立命館びわこ講座において「ストレスの科学と健康」〜睡眠・覚醒・生体リズムの理解が生活を豊かにする〜の演題で講演実施。2010 年 10 月 16 日 立命館大学ローム記念館 5 階大会議室

(学術論文)

- 1. 金倉智行、稲本辰巳、萩原 啓: α波を生理指標とした覚醒度と身体動揺との関係、生体医工学 48(1) 93-97,2010
- 2. 高野佑樹、萩原 啓:呼吸波形に基づいた接触新動圧刺激が心身に及ぼす影響、バイオフィードバック研究 37(1) 46-52,2010
- 3. 寺西慶祐、萩原 啓: NIRS を用いたひらめき時の脳内変化の特徴抽出、モバイル学会誌 1(1) 41-46,2011

(国際学会発表論文): 査読付

- 1. Keisuke Teranishi, Hiroshi Hagiwara: Characteristic Changes in Oxygenated Hemoglobin Levels Measured by Near-Infrared Spectroscopy (NIRS) During "Aha" Experiences, Advances in Understanding Human Performance Neuroergonomics, Human Factors Design, and Special Populations 241-250, 2010
- 2. Kosuke Tsuboi, Akihiro Deguchi, Hiroshi Hagiwara: Relationship between Heart Rate Variability using Lorenz Plot and Sleep Level, 32nd
 Annual International Conference of the IEEE EMBS 5294-5297, 2010
- 3. Takashi Matsuoka: Effect of working memory task and a cognitive judgment task on P300 component of event-related brain potentials, 10th International Congress of Physiological Anthropology (ICPA2010) 70, 2010

4. Shinya Kume, Hiroshi Hagiwara, Namiko Tokumitsu & Saori Sakamoto: Influence of circadian rhythm on maintenance of body shape, Proceedings of the 9th Pan-Pacific Conference on Ergonomics 09-2-B: Physical Ergonomics & Biomechanics (II) 7page, 2010

(学会発表論文)

- 1. 寺西慶祐、萩原 啓: NIRS によるひらめき時の脳内血中酸素化ヘモグロビン濃度変化の特徴抽出、シンポジウム「モバイル'10」 113-116,2010
- 2. 杉谷直哉、萩原 啓:ユーザビリティの質の違いによる脳内血中酸素化ヘモグロビン濃度変化の特徴変化の比較 シンポジウム「モバイル'10」 117-120,2010
- 3. 松岡 孝、萩原 啓:短期記憶課題および認知判断課題が事象関連電位P300に及ぼす影響 モバイル学会研究報告集 Vol.6 9-12,2010
- 4. 久米真也、萩原 啓、徳光美奈子、阪本沙央里:体型変化の異なる人のサーカディアンリズムに着目した日常生活評価 人間工学 特別号 Vol. 46, 320-321, 2010
- 5. 山田絵里香、萩原 啓: Physiological effect of sound stimulus with feature of heart rate fluctuation 生体医工学 特別号 Vol. 48, 201, 2010
- 6. 出口明広、萩原 啓、坪井宏祐:終夜における呼吸間隔変動と睡眠状態の関係 日本睡眠学会第35回定期学術集会抄録集 198,2010
- 7. 山田絵理香、萩原 啓:運動および睡眠状態の心拍変動の特徴を持つ音刺激の生理的影響 第38回日本バイオフィードバック学会学術総会抄録集 27,2010
- 8. 坪井宏祐、出口明広、萩原 啓:ローレンツプロットの定量評価による睡眠状態推移の検出 ヒューマンインタフェースシンポジウム2010 1-4,2010

- 9. 杉谷直哉、萩原 啓: 異なるユーザビリティにおけるパフォーマンスと脳内酸素化ヘモグロビン濃度の関係 ヒューマンインタフェースシンポジウム 2010 5-8, 2010
- 10. 長崎 健、萩原 啓:日常生活と異なる動作時における脳活性状態の測定 ヒューマンインタフェースシンポジウム 2010 15-18, 2010
- 11. 山田絵理香、萩原 啓: 生体信号の特徴を有する音刺激の心拍変動への影響 ヒューマンインタフェースシンポジウム 2010 825-828, 2010
- 12. 久米真也、徳光奈美子、阪本沙央理、萩原 啓:体型変化の異なる人の日常生活における活動量の差異評価 生体医工学シンポジウム 2010 394-402,2010
- 13. Kosuke Tsuboi, Akihiro Deguchi, Hiroshi Hagiwara: Relationship Between Heart Rate Variability Using Lorenz Plot and Sleep Levels Proceedings of The Third Asian Joint Workshop on Information Technologies 95, 2010
- 14. Takashi Matsuoka, Hiroshi Hagiwara: Effect of working memory task and cognitive judgment task on the P300 component of Event Related brain Potential Proceedings of The Third Asian Joint Workshop on Information Technologies 96, 2010
- 15. 出口明広、萩原 啓:呼吸情報と心拍情報を指標とした睡眠状態の推定 第25回生体・生理工学シンポジウム論文集 93-96,2010
- 16. 高野佑樹、萩原 啓:呼吸変動に基づく振動刺激が心身に与える効果 第25回生体・生理工学シンポジウム論文集 97-98,2010
- 17. 出口明広、萩原 啓:終夜睡眠の呼吸間隔変動及び心拍間隔変動による睡眠段階の推定 日本生理人類学会第63回大会要旨集 26-27,2010

- 18. 杉谷直哉、萩原 啓:異なるユーザビリティにおけるパフォーマンスと生理変化の関係 日本生理人類学会第63回大会要旨集 58-59,2010
- 19. 長崎 健、萩原 啓:非日常的動作時の脳活動状態の測定 第 12 回公益社団法人計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2010 講演論文 集 2G1-1 4p, 2010
- 20. 寺西慶祐、萩原 啓: NIRS を用いたひらめきに付随する脳内活動の計測 第 12 回公益社団法人計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2010 講演論文集 2G1-2 4p. 2010
- 21. 佐藤健二、萩原 啓:難易度が異なる追従および認知・判断における脳内血中へモグロビン濃度変化の特徴抽出 第 12 回公益社団法人計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2010 講演論文集 2G1-3 4p, 2010
- 22. Kosuke Tsuboi, Akihiro Deguchi, Hiroshi Hagiwara: Estimation of Sleep Levels Using Lorenz Plot of Heart Rate Variability, 11th Japanese-Polish Seminar on Biomedical Technologies in the Time of Population Aging 53-54, 2010
- 23. 神林優太、坪井宏祐、出口明広、萩原 啓:体動データによる徐波睡眠推定法 平成 22 年度日本人間工学会関西支部大会論文集 171-174, 2010
- 24. 岩崎浩暁、萩原 啓:精神的負荷作業時における情動反応計測の試み 不快情動と脳内血中酸素化ヘモグロビン濃度との関係 平成 22 年度 日本人間工学会関西支部大会論文集 177-180, 2010
- 25. 岩崎浩暁、萩原 啓: NIRS データ解析による単調作業時の一過性ストレスの評価 シンポジウム「モバイル 11」研究論文集 43-48,2011

(学会発表)

- 1. 寺西慶祐、萩原 啓: NIRS によるひらめき時の脳内血中酸素化ヘモグロビン濃度変化の特徴抽出、シンポジウム「モバイル '10」 2010 年 3 月 18 日(名古屋大学、名古屋)
- 2. 杉谷直哉、萩原 啓:ユーザビリティの質の違いによる脳内血中酸素化ヘモグロビン濃度変化の特徴変化の比較 シンポジウム「モバイル '10」 2010年3月18日 (名古屋大学、名古屋)
- 3. 松岡 孝、萩原 啓:短期記憶課題および認知判断課題が事象関連電位P300に及ぼす影響 モバイル研究会 2010年5月29日 (神戸女子大学、神戸)
- 4. 久米真也、萩原 啓、徳光美奈子、阪本沙央里:体型変化の異なる人のサーカディアンリズムに着目した日常生活評価 日本人間工学会第51回大会 2010年6月19日(北海道大学、札幌)
- 5. 山田絵里香、萩原 啓: Physiological effect of sound stimulus with feature of heart rate fluctuation 第49回日本生体医工学会大会 2010 年6月26日(大阪国際交流センター、大阪)
- 6. 出口明広、萩原 啓、坪井宏祐:終夜における呼吸間隔変動と睡眠状態の関係 日本睡眠学会第35回定期学術集会 2010年7月1日、2日(名古屋 国際会議場、名古屋)
- 7. Keisuke Teranishi, Hiroshi Hagiwara: Characteristic Changes in Oxygenated Hemoglobin Levels Measured by Near-Infrared Spectroscopy (NIRS) During "Aha" Experiences, 3rd International Conference on Applied Human Factors and Ergonomics (AHFE) 17-20 July 2010 (Intercontinental Hotel Miami, Florida USA)

- 8. 山田絵理香、萩原 啓:運動および睡眠状態の心拍変動の特徴を持つ音刺激の生理的影響 第38回日本バイオフィードバック学会 2010年7月 18日(岩手大学、岩手)
- 9. Kosuke Tsuboi, Akihiro Deguchi, Hiroshi Hagiwara: Relationship between Heart Rate Variability using Lorenz Plot and Sleep Level, 32nd Annual International Conference of the IEEE EMBS 2010 年 9 月 4 日 (Buenos Aires, Argentina)
- 10. 坪井宏祐、出口明広、萩原 啓:ローレンツプロットの定量評価による睡眠状態推移の検出 ヒューマンインタフェースシンポジウム2010 2010 年9月8日(立命館大学、滋賀)
- 11. 杉谷直哉、萩原 啓: 異なるユーザビリティにおけるパフォーマンスと脳内酸素化ヘモグロビン濃度の関係 ヒューマンインタフェースシンポジウム 2010 2010 年 9 月 8 日(立命館大学、滋賀)
- 12. 長崎 健、萩原 啓:日常生活と異なる動作時における脳活性状態の測定 ヒューマンインタフェースシンポジウム 2010 2010 年9月8日(立命館大学、滋賀)
- 13. 山田絵理香、萩原 啓: 生体信号の特徴を有する音刺激の心拍変動への影響 ヒューマンインタフェースシンポジウム 2010 2010 年 9 月 10 日 (立 命館大学、滋賀)
- 14. 久米真也、徳光奈美子、阪本沙央理、萩原 啓:体型変化の異なる人の日常生活における活動量の差異評価 生体医工学シンポジウム 2010 2010 年 9 月 11 日 (北海道大学、札幌)
- 15. Takashi Matsuoka: Effect of working memory task and a cognitive judgment task on P300 component of event-related brain potentials, 10th International Congress of Physiological Anthropology (ICPA2010) 2010 年 9 月 11 日(The Esplanade Hotel, Fremantle, Western Australia)

- 16. Kosuke Tsuboi, Akihiro Deguchi, Hiroshi Hagiwara: Relationship Between Heart Rate Variability Using Lorenz Plot and Sleep Levels The Third Asian Joint Workshop on Information Technologies 2010 年 9 月 17 日 (Dalian University of Technology, Dalian, China)
- 17. Takashi Matsuoka, Hiroshi Hagiwara: Effect of working memory task and cognitive judgment task on the P300 component of Event Related brain Potential The Third Asian Joint Workshop on Information Technologies 2010 年 9 月 17 日 (Dalian University of Technology, Dalian, China)
- 18. 出口明広、萩原 啓:呼吸情報と心拍情報を指標とした睡眠状態の推定 第25回生体・生理工学シンポジウム 2010年9月23日(岡山大学、岡山)
- 19. 高野佑樹、萩原 啓:呼吸変動に基づく振動刺激が心身に与える効果 第25回生体・生理工学シンポジウム 2010年9月23日(岡山大学、岡山)
- 20. 出口明広、萩原 啓:終夜睡眠の呼吸間隔変動及び心拍間隔変動による睡眠段階の推定 日本生理人類学会第63回大会 2010年10月30日(千葉大学、千葉)
- 21. 杉谷直哉、萩原 啓: 異なるユーザビリティにおけるパフォーマンスと生理変化の関係 日本生理人類学会第 63 回大会 2010 年 10 月 31 日(千葉大学、千葉)
- 22. Shinya Kume, Hiroshi Hagiwara, Namiko Tokumitsu & Saori Sakamoto: Influence of circadian rhythm on maintenance of body shape, The 9th Pan-Pacific Conference on Ergonomics, November 7-10, 2010 Kaohsiung Taiwan

- 23. 長崎 健、萩原 啓: 非日常的動作時の脳活動状態の測定 第 12 回公益社団法人計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2010 2010 年 11 月 25 日 (キャンパスプラザ京都、京都)
- 24. 寺西慶祐、萩原 啓: NIRS を用いたひらめきに付随する脳内活動の計測 第 12 回公益社団法人計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2010 2010 年 11 月 25 日 (キャンパスプラザ京都、京都)
- 25. 佐藤健二、萩原 啓: 難易度が異なる追従および認知・判断における脳内血中へモグロビン濃度変化の特徴抽出 第 12 回公益社団法人計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2010 2010 年 11 月 25 日 (キャンパスプラザ京都、京都)
- 26. Kosuke Tsuboi, Akihiro Deguchi, Hiroshi Hagiwara: Estimation of Sleep Levels Using Lorenz Plot of Heart Rate Variability, 11th Japanese-Polish Seminar on Biomedical Technologies in the Time of Population Aging November 26, 2010 Ritsumeikan University (Shiga Japan)
- 27. 神林優太、坪井宏祐、出口明広、萩原 啓:体動データによる徐波睡眠推定法 平成 22 年度日本人間工学会関西支部大会 2010 年 12 月 5 日 (大阪工業大学、大阪)
- 28. 岩崎浩暁、萩原 啓:精神的負荷作業時における情動反応計測の試み 不快情動と脳内血中酸素化ヘモグロビン濃度との関係 平成 22 年度 日本人間工学会関西支部大会 2010 年 12 月 5 日 (大阪工業大学、大阪)
- 29. 岩崎浩暁、萩原 啓: NIRS データ解析による単調作業時の一過性ストレスの評価 シンポジウム「モバイル 11」2011 年 3 月 10 日 (つくば大学、 茨城)